

から2015年度には46.8%と半分近くを占めるまでになった。2011年以降は多くの原発が停止しており、石炭が液化天然ガスとともに原子力の穴を埋める状況にあることも、石炭需要を後押ししている。ところで、2016年のパリ協定で日本は二酸化炭素の排出量を2030年までに2013年比で26%削減しなければならなくなった。石炭は化石燃料のなかで二酸化炭素の排出量が最も多く、今後の需要動向が見通しにくくなっている。

表 9-3 世界の石炭貿易 (2015年)

輸出国	万 t	%	輸入国	万 t	%
オーストラリア・	39 235	30.4	中国…………… ¹⁾	20 407	16.4
インドネシア…	36 697	28.4	インド……………	19 988	16.1
ロシア……………	15 187	11.8	日本……………	18 959	15.3
コロンビア……	8 114	6.3	韓国……………	12 708	10.2
南アフリカ共和国	7 550	5.8	オランダ……………	5 709	4.6
アメリカ合衆国・	6 175	4.8	ドイツ……………	5 453	4.4
世界計×…………	129 242	100.0	世界計×…………	124 152	100.0

国連“Energy Statistics Yearbook 2015”による。無煙炭と瀝青炭のみ。1) 中国は褐炭を含む。×その他とも。

表 9-4 世界の石炭産出高と埋蔵量 (単位 万 t)

	2000	2014	2015	%	可採埋蔵量 ¹⁾ (百万 t)	可採年数 ²⁾ (年)
中国…………… ³⁾	129 900	387 392	374 654	56.5	124 059	33.1
インド……………	31 370	61 244	63 923	9.6	85 562	133.9
インドネシア…	6 285	43 574	42 728	6.4	17 394	40.7
オーストラリア・	21 617	40 701	42 431	6.4	62 095	146.3
アメリカ合衆国・	52 275	44 786	36 818	5.6	222 641	604.7
ロシア……………	15 254	26 404	27 803	4.2	69 634	250.5
南アフリカ共和国	22 420	26 054	25 855	3.9	9 893	38.3
カザフスタン…	7 489	10 709	10 179	1.5	25 605	251.5
コロンビア……	3 814	8 858	9 536	1.4	4 881	51.2
ポーランド……	10 222	7 327	7 269	1.1	16 203	222.9
ベトナム…………	1 161	4 109	4 166	0.6	3 116	74.8
ウクライナ……	6 160	5 532	3 041	0.5	32 039	1 053.5
世界計×…………	328 011	683 124	662 770	100.0	698 660	105.4

国連“Energy Statistics Yearbook”および同“UN data”による。無煙炭と瀝青炭のみ。埋蔵量は世界エネルギー会議による2014年末現在の数値。日本の埋蔵量は340百万トン。1) 技術的、経済的に採掘可能な埋蔵量。2) 可採埋蔵量を2015年の産出量で割って算出。3) 生産には褐炭を含む。×その他とも。